

2019年度 決算説明資料

三洋化成 代表取締役社長 安藤 孝夫



Performance through Chemistry



<注意事項>

この資料に記載している金額は表示単位未満を切り捨てで、その他、比率等は表示単位未満を四捨五入しております。

<免責事項>

この資料には、2020年5月12日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測等が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動・原料価格の動向等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>

三洋化成工業株式会社 コーポレートコミュニケーション本部 メディア・IR部

E-mail: pr-group@sanyo-chemical.group

会社概要



創 立:1949(昭和24)年11月1日

本 社:京都市東山区

資本金:13,051百万円

国内支社·営業所:東京、大阪、名古屋、広島、福岡

国内工場:名古屋、衣浦、鹿島、京都、川崎(サンケミカル)

従業員数:2,060名(連結)[2020年3月31日現在]

事業内容:約3,000種のパフォーマンス・ケミカルス

(機能化学品)の製造・販売

三洋化成グループ(3/31時点)



Sanyo

お Sanyo 三洋化成グループ

- ●連結子会社:13社
- ○持分法適用会社:5社

国内(5社)

- SDPグローバル(株)
- サンノプコ(株)
- サンケミカル(株)

- サンアプロ(株)
- ○(株)サン・ペトロケミカル

海外(9社)



- ●三洋化成精細化学品(南通)有限公司
- ●三大雅精細化学品(南通)有限公司
- ●三洋化成(上海)貿易有限公司



Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



- SANAM Corp.
 - Sanyo Chemical & Resins, LLC
 - Sanyo Chemical Texas Industries, LLC
 - OSunrise Chemical LLC



■ SDP GLOBAL (MALAYSIA) SDN.BHD.

物流・サービス

その他の子会社・関連会社:

韓国三洋化成(株) 台湾三洋化成股份有限公司 SAN NOPCO (KOREA) LIMITED

- 三洋運輸(株)*
- ○塩浜ケミカル倉庫㈱
- ○名古屋三洋倉庫㈱*
- ○(株)サンリビング

*2020/4/1 三洋運輸(株)と名古屋三洋倉庫(株)を統合し、 三洋化成ロジスティクス(株)を設立しております

韓国三洋化成製造(株)

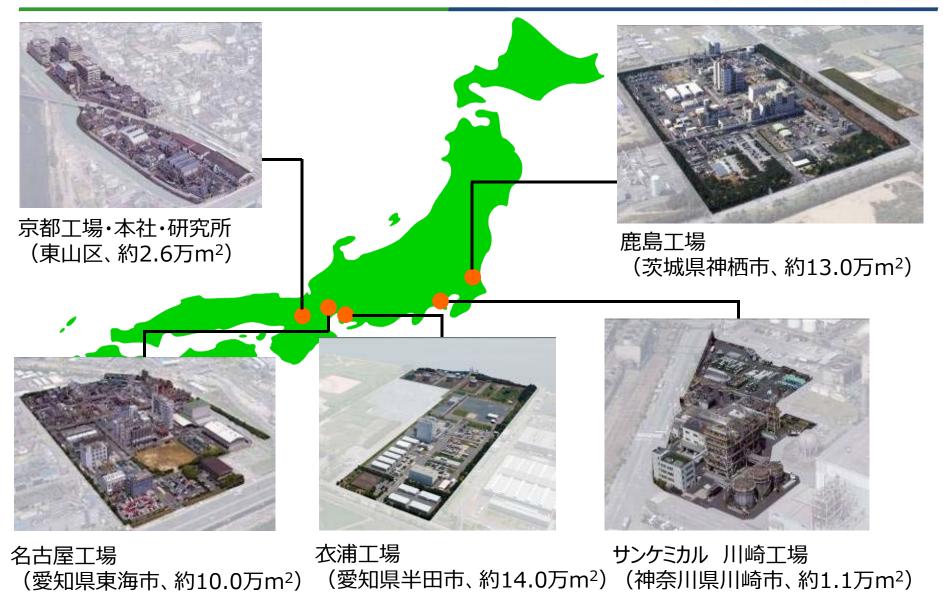
APB(株)

SAN NOPCO (SHANGHAI) TRADING Co., Ltd.

DAXIANG INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) Co., Ltd.

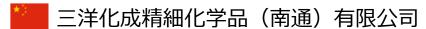
国内生産拠点



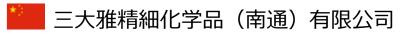


海外生産拠点





Sanyo Chemical & Resins, LLC









韓国三洋化成製造株式会社







SDP GLOBAL(MALAYSIA)SDN.BHD.



Sanyo Chemical Texas Industries, LLC

Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.

海外営業拠点





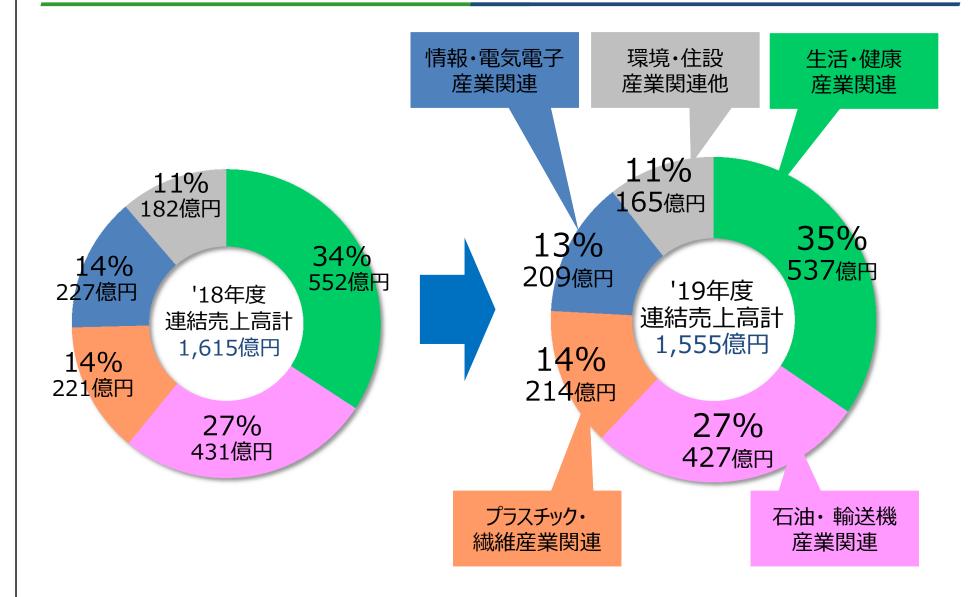
産業分野別主要製品



大分類	中分類	主要製品				
生活·健康	生活産業関連	洗剤・洗浄剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤、 製紙用薬剤				
産業関連	健康産業関連	高吸水性樹脂(SAP)、医薬品原料、殺菌消毒剤、外科用止血材、 EIA(酵素免疫測定法)用臨床検査薬、人工腎臓用ポッティング材				
石油·輸送機	産業関連	自動車内装表皮材用ウレタンビーズ(TUB)、ポリウレタンフォーム用原料 (PPG)、潤滑油添加剤、燃料油添加剤、水溶性切削油、非ハロゲン系洗浄剤、 合成潤滑油ベース、デザインモデル製作用盛り付け樹脂、 自動車塗料用樹脂				
プラスチック・繊維	プラスチック 産業関連	永久帯電防止剤、顔料分散剤、樹脂改質剤、塗料用樹脂、消泡剤、 ポリウレタンエラストマー原料、モデル製作用合成木材				
産業関連	繊維産業関連	繊維製造用薬剤、炭素繊維用薬剤、ガラス繊維用薬剤、 人工皮革・合成皮革用ウレタン樹脂				
情報	情報産業関連	重合トナー中間体ポリエステルビーズ(PEB)、トナーバインダー				
·電気電子 産業関連	電気電子 アルミ電解コンデンサ田電解液 電気一重層セャパシカ田					
環境·住設産業関連他		廃水処理用高分子凝集剤、カチオンモノマー、家具・断熱材用PPG、 泥水用薬剤、反応性ホットメルト接着剤、建築シーラント用原料、 セメント用薬剤				

連結産業分野別売上高構成





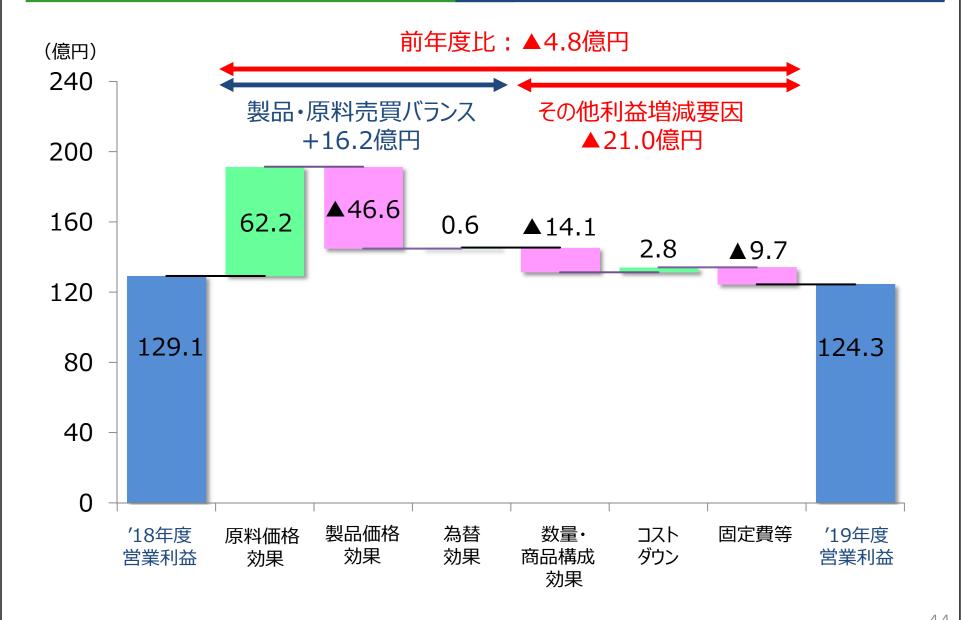
′19年度業績



(億円,%)

連結	′18年度	′19年度	前年度比			
) 连 和	10十/文	13十/文	増減額	増減率		
売上高	1,615.9	1,555.0	▲ 60.9	4		
営業利益	129.1	124.3	▲ 4.8	▲ 4		
経常利益	152.0	127.0	▲ 25.0	▲ 16		
親会社株主に帰属 する当期純利益	53.4	76.6	23.2	43		
包括利益	▲ 7.6	21.7	29.3	— ! !		

連結営業利益の前年度比増減要因



連結純利益の前年度比増減要因 😽 Sanyo Chemical



	′18年度	′19年度	増減額
営業利益	129.1	124.3	▲ 4.8
持分法投資損益	13.0	2.3	▲ 10.7
為替差損益	2.4	▲ 4.7	▲ 7.2
その他営業外損益	7.2	5.0	▲ 2.2
経常利益	152.0	127.0	▲ 25.0
固定資産売却損益、除却損	▲ 8.2	▲ 11.8	▲ 3.5
投資有価証券売却益、評価損	24.1	▲ 0.2	▲ 24.3
減損損失	▲87.9	_	87.9
その他の特別損益	▲ 4.5	▲ 4.8	▲ 0.3
税金等調整前当期純利益	75.4	110.0	34.6
法人税等	▲ 47.5	▲ 32.5	15.0
非支配株主に帰属する当期純利益	25.6	▲0.8	▲ 26.4
親会社株主に帰属する当期純利益	53.4	76.6	23.2

連結貸借対照表



	2019年 3月31日	2020年 3月31日	増減額	主な増減要因
流動資産	950	858	▲ 92	現金及び預金(▲11)、受取手形及び売掛金・電子 記録債権(▲66)、たな卸資産(▲10)
固定資産	985	930	▲ 55	有形固定資産(▲16)、投資有価証券(▲61)
資産合計	1,936	1,788	▲ 147	
流動負債	525	427	▲ 97	買掛金·電子記録債務(▲73)、 未払法人税等(▲24)
固定負債	84	60	▲ 24	長期借入金(▲14)、繰延税金負債(▲12)
負債合計	610	487	▲ 122	
株主資本	1,178	1,214	36	当期純利益(76)、配当金支払(▲29)
その他 包括利益	115	61	▲ 53	その他有価証券評価差額金(▲41)、 為替換算調整勘定(▲7)
非支配株主持分	32	24	▲ 7	
純資産合計	1,326	1,300	▲ 25	
負債·純資産合計	1,936	1,788	▲ 147	

連結キャッシュフロー計算書



	′18年度	′19年度	増減額	特記事項
営業活動CF	146	172	26	
税金等調整前純利益	75	110	34	
減価償却費	91	91	▲0	
減損損失	87	_	▲ 87	
持分法投資損益	▲ 13	▲ 2	10	
運転資金の増減	▲ 73	0	74	
法人税等	▲ 28	▲ 53	▲ 24	
その他	6	25	18	
投資活動CF	▲ 113	▲ 111	1	固定資産の取得 ′18:▲115.5 ′19:▲81.9
フリーCF	32	42	9	
財務活動CF	▲ 14	▲ 70	▲ 55	借入·返済 ′18:13 ′19:▲22
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲ 0	▲ 1	1	
現金及び現金同等物の 増減額	17	▲ 11	▲29	
現金及び現金同等物の 期首残高	173	191	17	
現金及び現金同等物の 期末残高	191	180	▲ 11	

主要経営指標



	単位	′18年度	′19年度	前年度比
総資産	億円	1,936	1,788	▲ 147
総資産経常利益率	%	7.7	6.8	▲ 0.9pt
自己資本	億円	1,293	1,276	▲17
自己資本比率	%	66.8	71.4	+4.6pt
自己資本当期純利益率	%	4.1	6.0	+1.9pt
有利子負債	億円	119	96	▲ 23
負債資本倍率(D/Eレシオ)	倍	0.09	0.08	▲0.01pt

′20年度業績予想について



新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大や原油および石油関連製品相場の急落等、先行き不透明な事業環境を踏まえ、現段階では業績予想を合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。

今後、算定が合理的に可能となった段階で速やかに公表いたします。

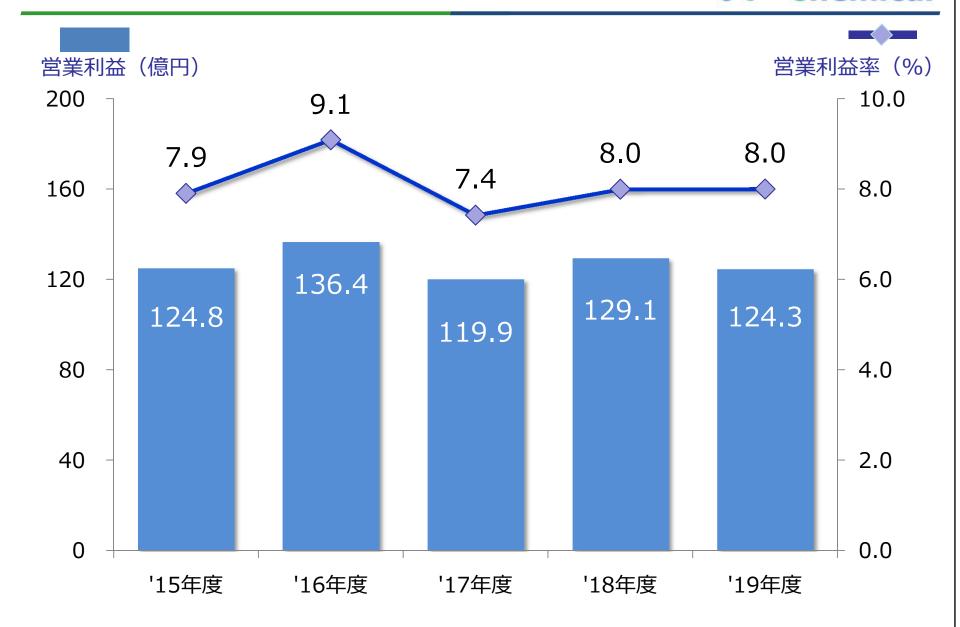
連結業績の推移





連結営業利益(同率)の推移





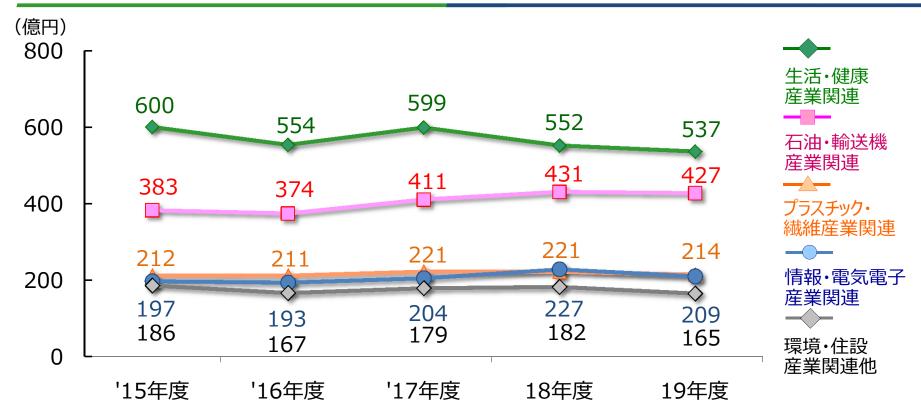
連結産業分野別業績



産業分野			売上高		営業利益			
		′18年度	′19年度	増減額	′18年度	′19年度	増減額	
生活·健康	産業関連	552.9	537.2	▲ 15.6	11.7	15.9	4.1	
生活産業	業関連	145.4	133.5	▲ 11.8				
健康産		407.5	403.7	▲ 3.7				
石油·輸送機産業関連		431.0	427.7	▲3.3	30.5	37.4	6.8	
プラスチック・	繊維産業関連	221.6	214.5	▲ 7.1	33.8	30.0	▲ 3.8	
プラスチッ	り定業関連	153.8	154.9	1.0				
繊維産	 業関連	67.8	59.6	▲ 8.2				
情報・電気管	電子産業関連	227.6	209.8	▲ 17.7	40.0	29.3	▲ 10.6	
情報産業	業関連	152.5	139.4	▲ 13.1				
電気電子産業関連		75.0	70.4	▲ 4.6				
環境·住設産業関連他		182.6	165.6	▲ 16.9	12.9	11.6	▲ 1.2	
	合計	1,615.9	1,555.0	▲60.9	129.1	124.3	▲ 4.8	

連結産業分野別売上高の推移





'19年度業績の主な増減要因(前年度比)

生活・健康 : PEGが国内外ともに低調。また、SAPは、SDPMの本格稼働があったものの、原料価格の

低下に伴う製品価格の低下により横ばい

石油・輸送機 : 潤滑油添加剤は横ばい。TUB高機能品の採用車種増加により売り上げを伸ばしたものの、

PPGの販売が減少

プラスチック・繊維 : 繊維製造用油剤の中国向け輸出が米中輸出関税問題の影響を受け低調

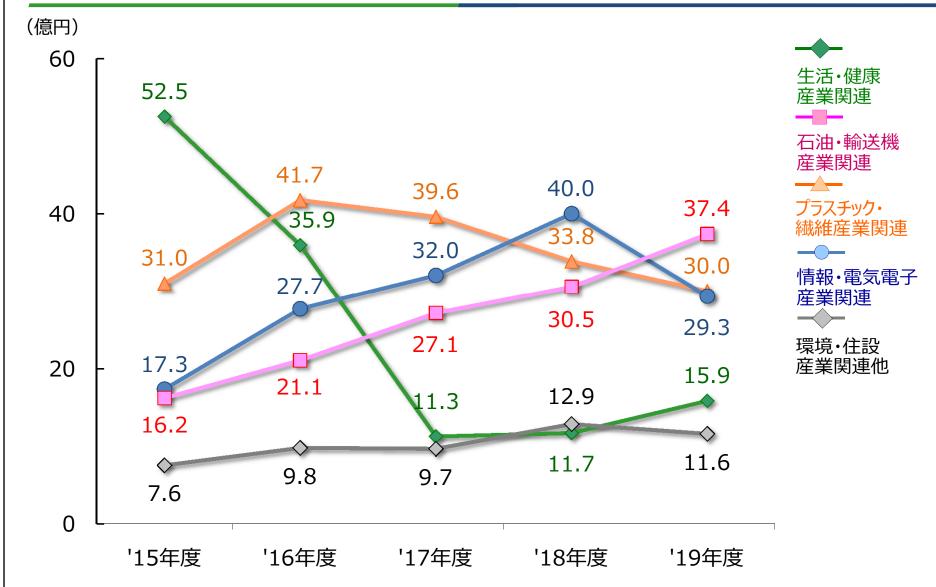
情報・電気電子 : PEBがユーザーの在庫調整により減少。電子材料用粘着剤の販売が好調に推移したものの、

アルミ電解コンデンサ用電解液が低調

.環境・住設、他 : 建築シーラント用原料や家具・断熱材用PPGが低調

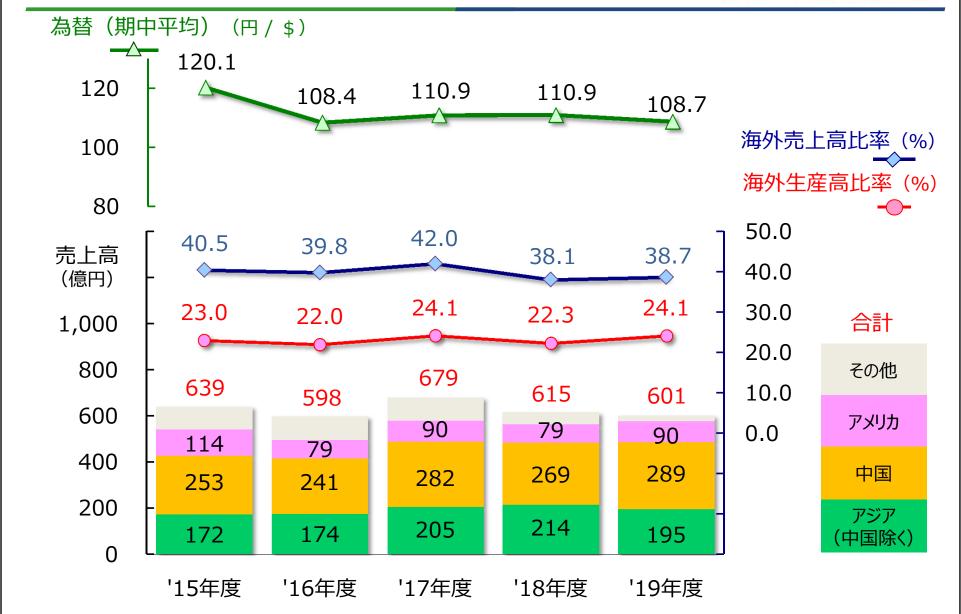
連結産業分野別営業利益の推移 🐇



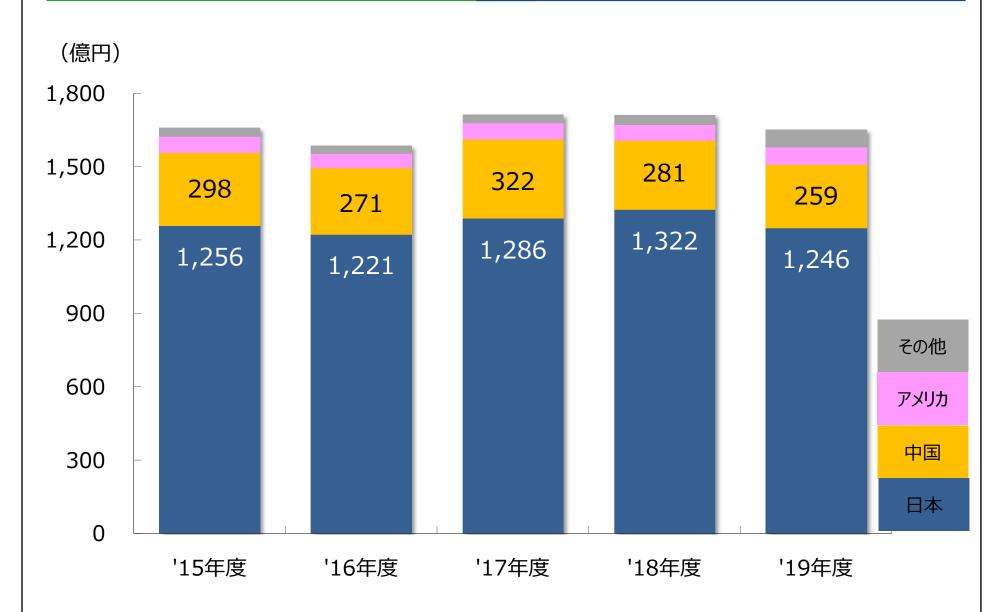


海外売上高の推移

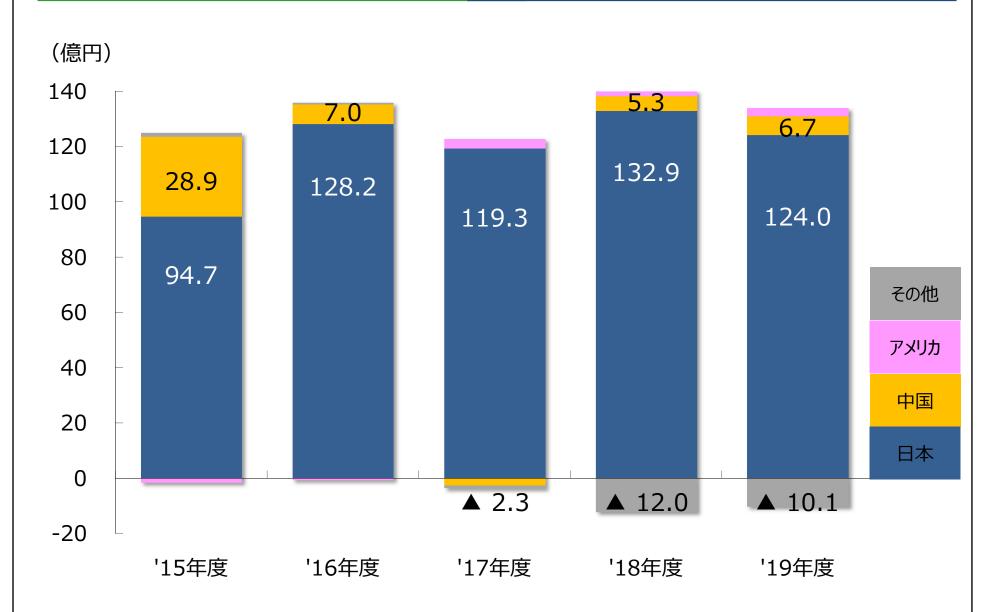




連結所在地別売上高の推移(単純合算)

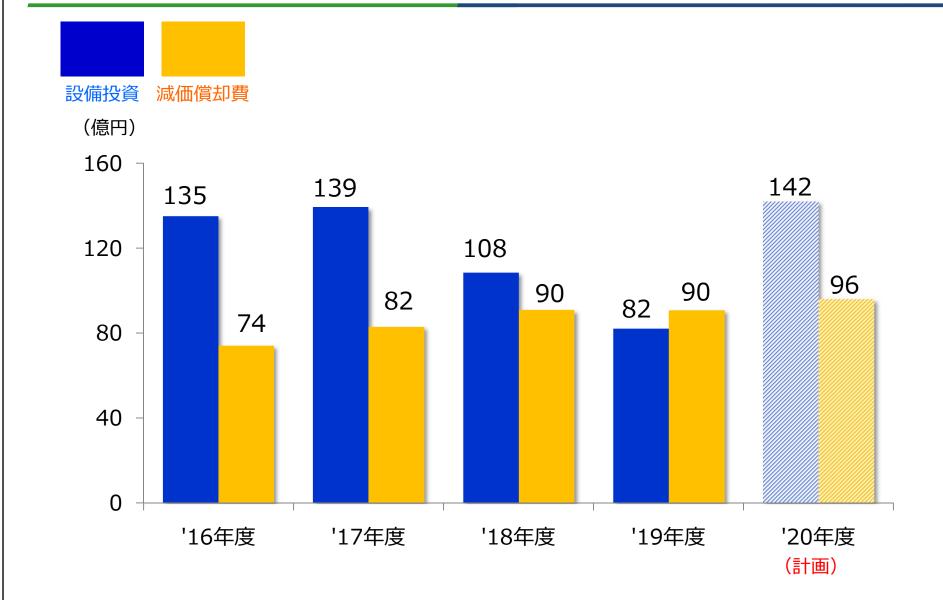


連結所在地別営業利益の推移(単純合算)



設備投資と減価償却費 (連結)





1株あたり配当と配当性向の推移(連結)

合計



期末 〈配当の基本方針〉

中間 連結配当性向30%以上をめどに、安定配当を実施

配当(円/株)



'20年度中間および期末配当予想につきましては、現段階では未定とし、 業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします



トピックス



'19/5/29 基本合意書締結 For the New Company 統合5原則を制定

'19/11/29 最終契約締結

新社名「Synfomix」

統合準備委員会 各分科会·部会·WG

2020年10月1日 Synfomix設立を目指してきた





- 日本触媒の2019年度業績見込み下方修正 (2020/2/4)
 - 統合諸条件の妥当性を再検証する必要が発生
- 2 新型コロナウイルスの全世界的拡大
 - 金融、経済、市場等事業環境の見通しが 急速に不透明感を増した

など、いくつかの想定されなかった事象が発生



2020/4/13 状況の変化に伴う見直しを実施することを決定

経営統合(株式移転の効力発生日) を2021年4月1日まで半年間延期

株式移転比率の見直し



經當統合の目的は不變

"対等の精神"に基づき 両社事業の様々な点において、 シナジー効果を生み出していくことで、 従業員の誇りや働きがいを生み出し ていくこと



三洋化成と日本触媒がより一層発展していくために、この両社が最良のパートナーであり、経営統合を実現することが、私たちの未来にとって最良の選択

全樹脂電池の事業化に向けて



全樹脂電池とは

リチウムイオン電池の主要構成物質を樹脂に 置き換えた世界で初めての新技術

堀江社長が着想

- 三洋化成の界面制御技術を用いて実現











特長

- ・コンパクトで大容量
- ・異常時信頼性が高い
- ・無駄な部品を減らせる



定置用セル (手前は比較のためのスマートフォン)

全樹脂電池の事業化に向けて



世界初の技術を浸透・産業化させるために

さまざまな分野の事業会社の連携が必要

APBが約80億円規模の増資を実施

















全樹脂電池の事業化に向けて



世界初の全樹脂電池技術いよいよ量産化フェーズへ

プロセス確立し量産工場を福井県に建設





APB福井工場(仮称) 土 地 : 23,733m²

建物: 鉄骨構造 2階建延床面積:8,627.96m² (2,609.95 坪)

パイロットスケールで概略設計の 妥当性は確認済



三洋化成からAPBへ技術ライセンス完了 早期量産化実現へ向け、オールジャパン体制で 全樹脂電池を世界へ

外科用止血材の適用部位拡大



2011年 有効性・安全性審査の厳しい体内埋植型の高度管理医療機器 (クラスIV) における製造販売承認を取得

類似品のない新医療機器であったため、最も止血困難な心臓血管の 外科手術に適応が限定

(胸部大動脈、弓部分岐動脈と人工血管との吻合部の補助的止血材)



2019年1月 製造販売後調査(市販後調査)による 有効性・安全性を確認

2019年7月 CEマーキングを取得

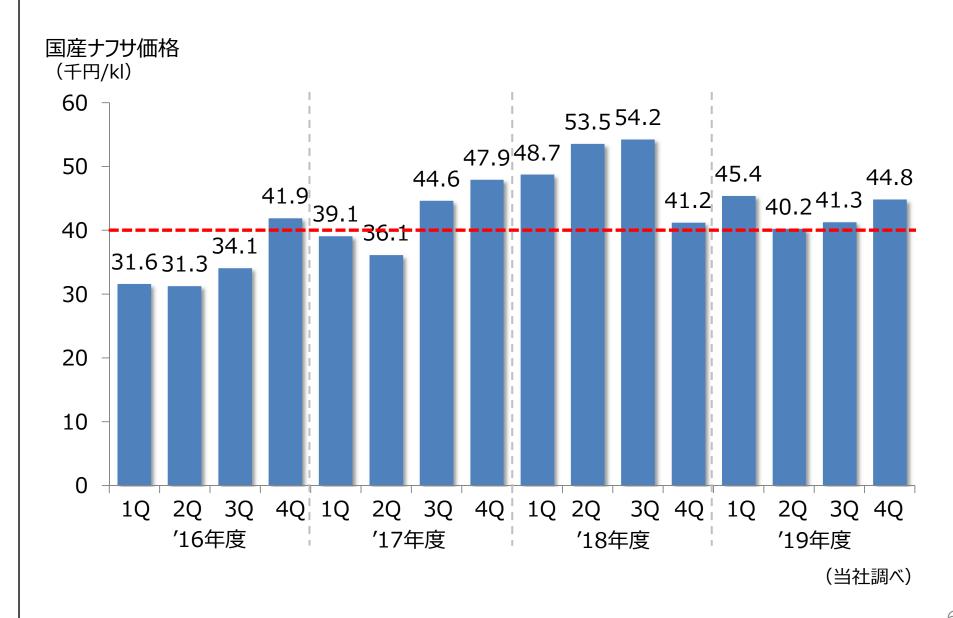
2020年3月 厚生労働省により適用部位拡大が承認 脳血管を除く血管全体の吻合部に使用範囲が拡大



参考資料

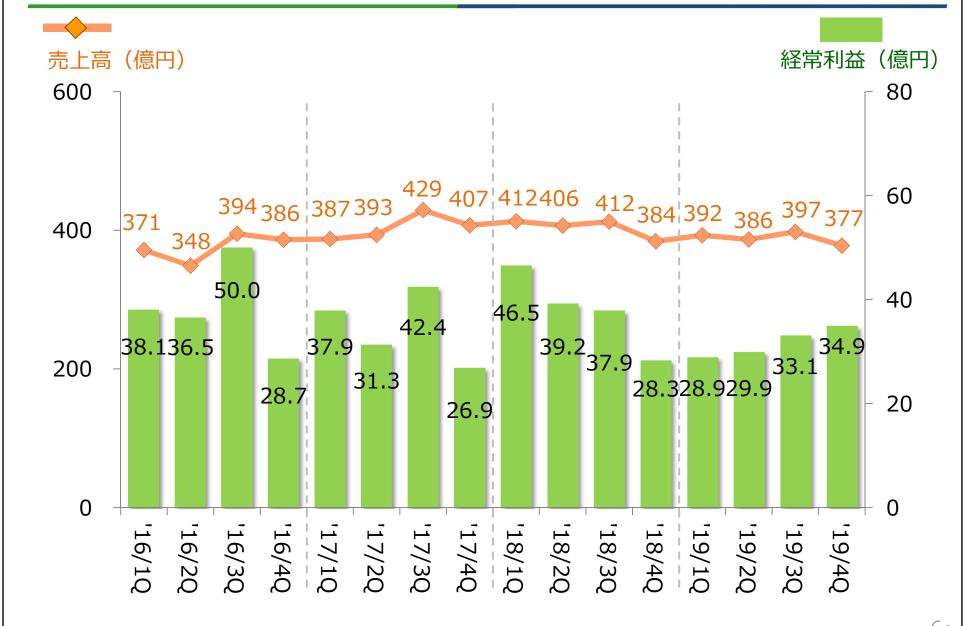
国産ナフサ価格の推移



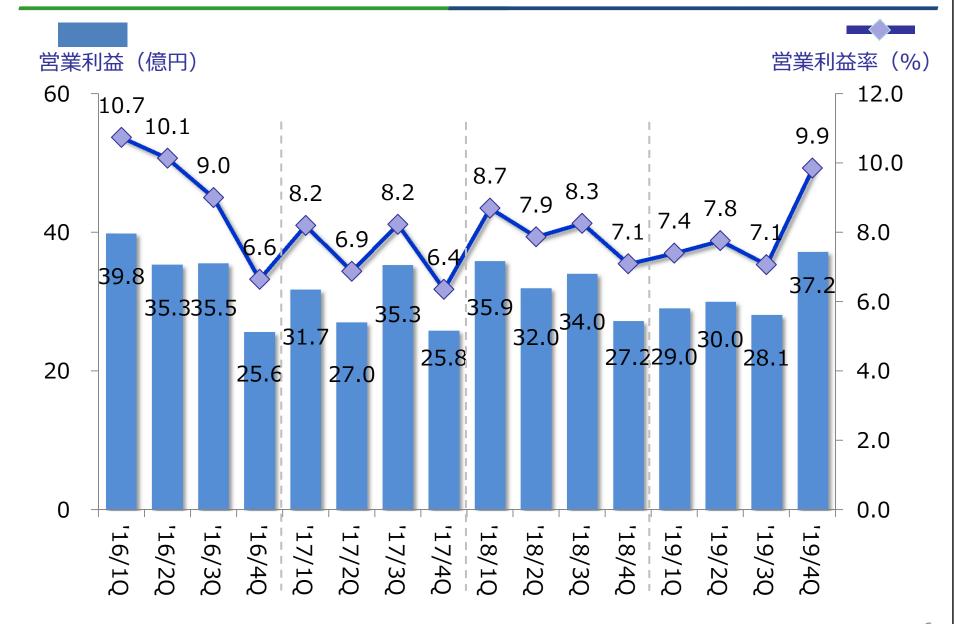


連結業績の推移 (四半期)

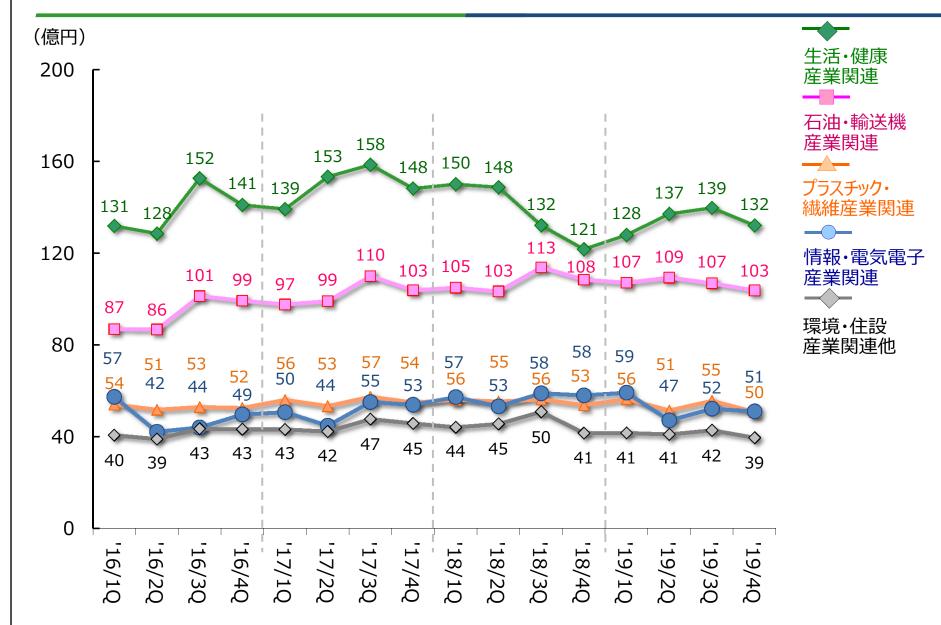




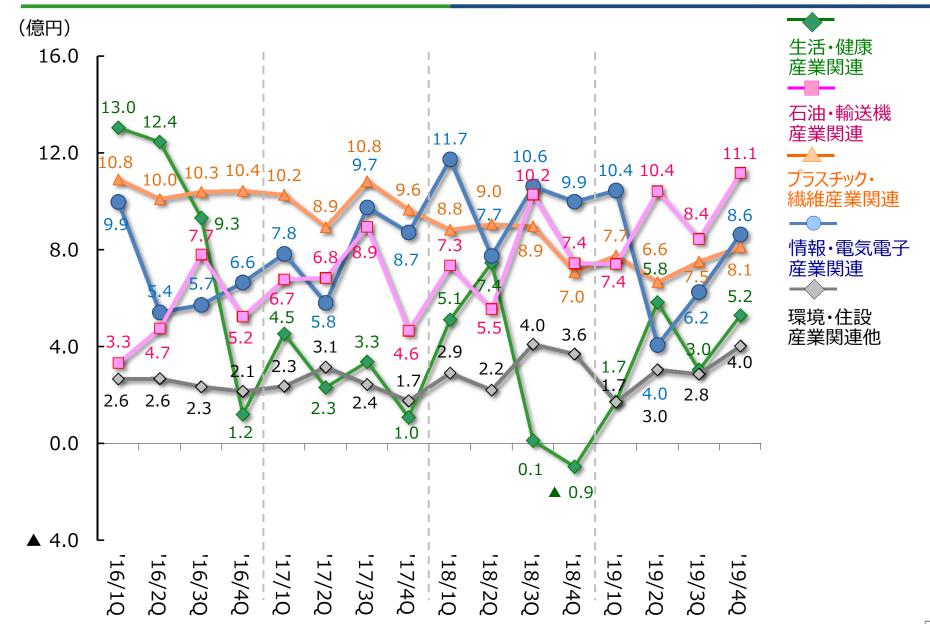
連結営業利益(同率)の推移(四半期)



連結産業分野別売上高の推移(四半期)

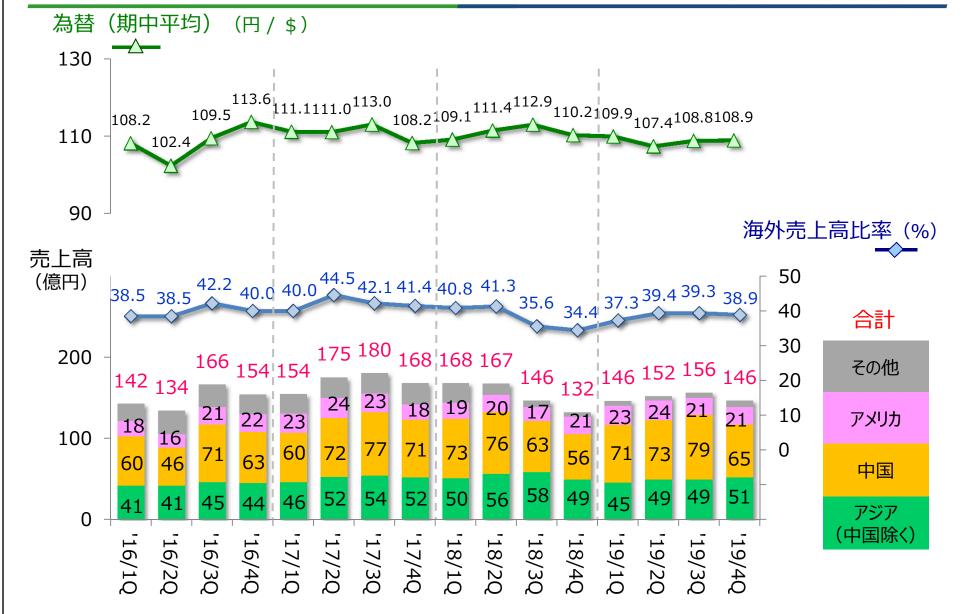


連結産業分野別営業利益の推移(四半期)

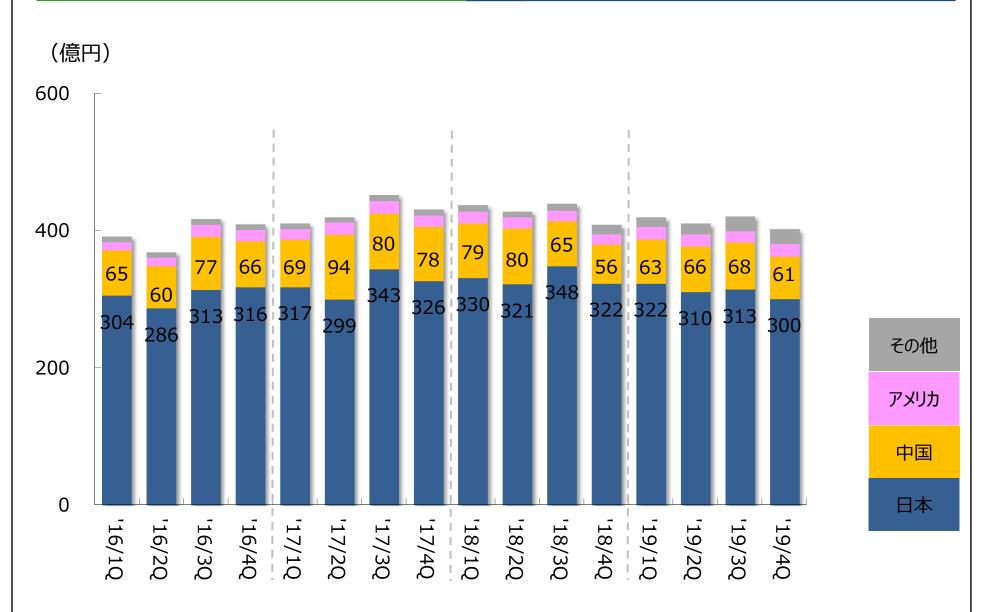


海外売上高の推移

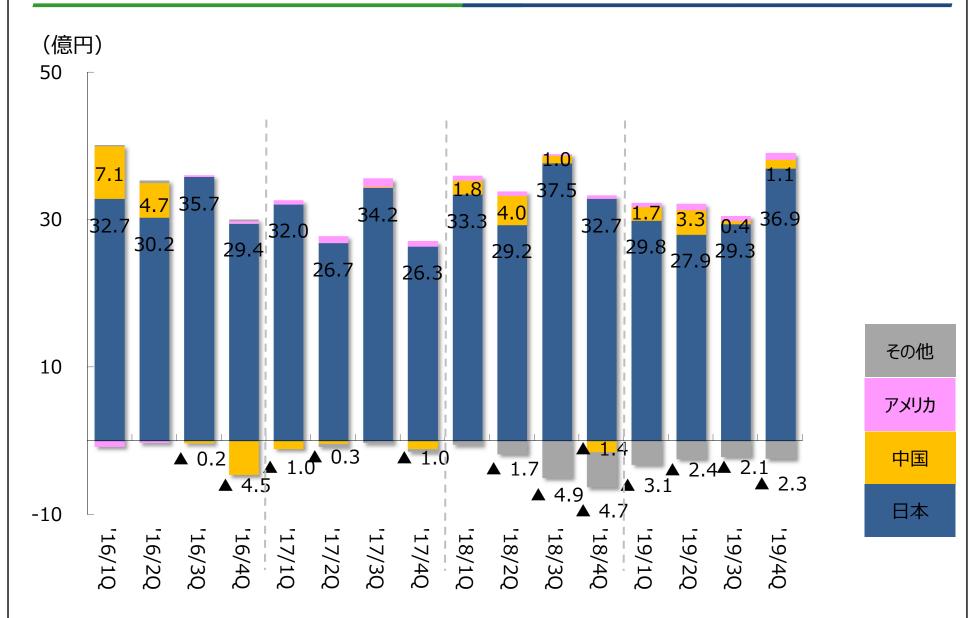




連結所在地別売上高の推移(単純合算)



連結所在地別営業利益の推移(単純合算)



国内連結子会社(5社)



会社名	略号	議決権所有割合	ì	事業内容		
SDPグローバル(株)	SDP	三洋化成工業㈱ 100%		高吸水性樹脂の製造販売		
サンノプコ(株)	SNL	三洋化成工業㈱	100%	紙・パルプ薬剤、塗料用薬剤、 各種工業用薬剤等の製造販売		
サンケミカル(株)	SCC	三洋化成工業㈱ JXTGIネルギー(株)	50% 50%	ポリウレタンフォーム用原料等の 製造		
サンアプロ(株)	SA	三洋化成工業㈱ エボニック・インターナショナル ホールディンク゛B.V.	50% 50%	エポキシ樹脂硬化促進剤、 ウレタン化反応触媒等の製造販売		
三洋運輸(株) *	三運	三洋化成工業㈱	100%	運送業		

^{*2020/4/1} 三洋運輸(株)と名古屋三洋倉庫(株)を統合し、三洋化成ロジスティクス(株)を設立しております。

海外連結子会社(8社)



会社名	所在国	略号	議決権所有割合	У П	事業内容
三洋化成精細化学品 (南通)有限公司	中国	SKN	三洋化成工業㈱	100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の製造
三大雅精細化学品 (南通)有限公司	田田	SDN	SDPグローバル(株)	100%	高吸水性樹脂の製造販売
三洋化成(上海) 貿易有限公司	中国	SCST	三洋化成工業㈱	100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の販売
Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.	タイ	SKT	三洋化成工業㈱ VIV,豊田通商㈱ほか		界面活性剤、ウレタン樹脂 等の製造販売
SANAM Corporation	米国	SANAM	三洋化成工業㈱	100%	米国子会社の統括会社、 潤滑油添加剤、ウレタン ビーズ等の販売
Sanyo Chemical & Resins, LLC	米国	SCR	SANAM Corporation	100%	潤滑油添加剤の製造
Sanyo Chemical Texas Industries, LLC	米国	SCTI	SANAM Corporation	100%	ウレタンビーズの製造
SDP GLOBAL (MALAYSIA) SDN.BHD.	マレーシア	SDPM	SDPグローバル(株)	100%	高吸水性樹脂の製造販売

持分法適用会社(5社)



会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
(株)サン・ペトロケミカル	SPCC	三洋化成工業㈱ JXTGエネルギー㈱	50% 50%	合成ゴム原料の製造
Sunrise Chemical LLC [米国]	SRC	SANAM Corp. JX・ニッホ°ン・ケミカル・テキサス	50% 50%	合成ゴム原料の製造
名古屋三洋倉庫㈱ *	名三倉	三洋化成工業㈱	100%	倉庫業
塩浜ケミカル倉庫㈱	塩ケミ	三洋化成工業㈱ JXTGエネルギー㈱	50% 50%	倉庫業
(株)サンリビング	SL	三洋化成工業㈱	100%	不動産、保険代理業

^{*2020/4/1} 三洋運輸(株)と名古屋三洋倉庫(株)を統合し、三洋化成ロジスティクス(株)を設立しております。